



1 一の位の数で0でない2けたの自然数をAとします。
 また、Aの十の位の数と一の位の数を入れかえてできる自然数をBとします。
 このとき、たかゆきさんとみゆきさんは、2つの数AからBをひいた差A-Bについて調べました。

たかゆきさん



A	B	差
11	11	0
12	21	-9
13	31	-27

みゆきさん



A	B	差
21	12	9
86	68	18
52	25	27

これらのことから、たかゆきさんとみゆきさんは、次のように予想しました。

**2けたの自然数Aと、Aの十の位の数と一の位の数を入れかえた自然数B
 A-Bの差は9の倍数になる。**

たかゆきさんとみゆきさんの予想がいつでも成り立つことを次のように説明します。

説明

Aの十の位の数x、一の位の数yとすると、 $A = 10x + y$ と表せる。
 Aの十の位の数と一の位の数を入れかえた自然数Bは、 $B = \boxed{\text{①}}$ と表せる。
 ただし、x、yは1から9までの整数である。

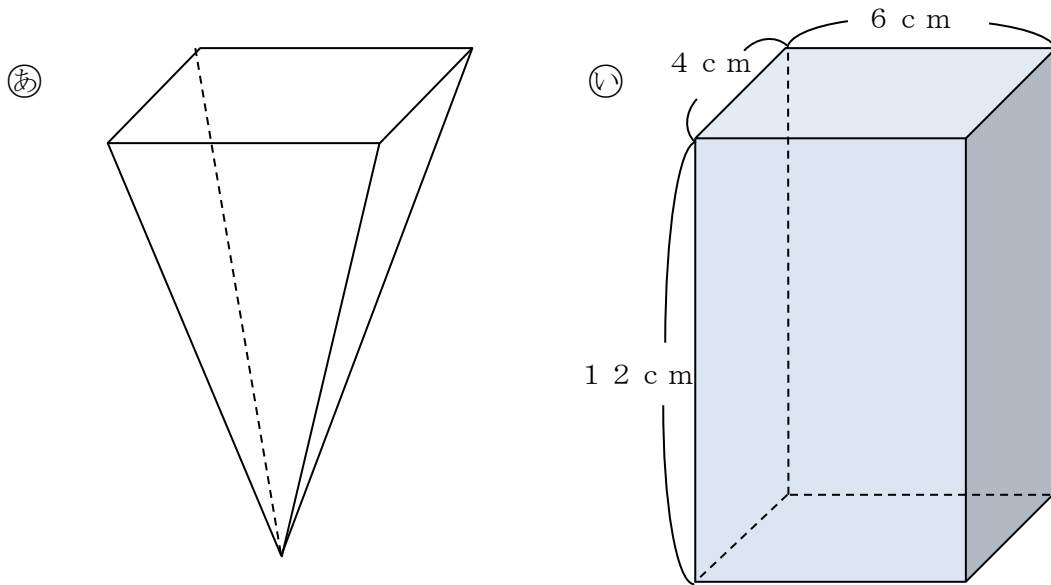
$$\begin{aligned}
 A - B &= (10x + y) - (\boxed{\text{①}}) \\
 &= \boxed{\text{②}} \\
 &= 9x - 9y \\
 &= 9(\boxed{\text{③}})
 \end{aligned}$$

$\boxed{\text{③}}$ は $\boxed{\text{④}}$ だから、 $9(\boxed{\text{③}})$ は9の倍数である。
 したがって、A-Bは9の倍数である。

上の説明の $\boxed{\text{①}}$ ~ $\boxed{\text{③}}$ にはあてはまる**式**を、 $\boxed{\text{④}}$ にはあてはまる**言葉**を書きなさい。

①		②		③		④	
---	--	---	--	---	--	---	--

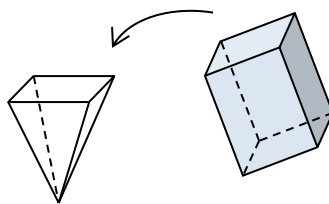
- 2 下の図は、それぞれの底面が合同な長方形で、高さは等しい立体である。
このとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。



- (1) ㊸の立体の名前を答えなさい。

- (2) 次の図のように、㊸の立体の容器いっぱいに入水を入れ、㊸の立体の容器に入水がいっぱいになるまで移す実験をしました。

- ㊸の立体の容器に、水はどのくらいの高さまで残りましたか。次のア~エから1つ選び、記号で答えなさい。



ア 4 cm

イ 6 cm

ウ 8 cm

エ 9 cm

